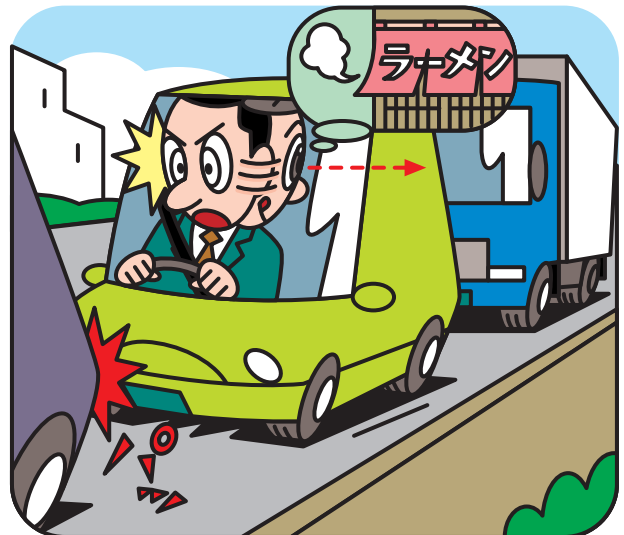


1月の安全運転のポイント 平成2年1月号

道路は常にスイスイ流れているわけではありません。交通事故や道路工事などにより渋滞することも少なくありません。渋滞時は低速となるため油断が生じやすく、それが思わぬ追突事故などにつながります。そこで今回は、渋滞による低速走行時の安全走行のポイントについて考えてみましょう。

Point 1 脇見をしない

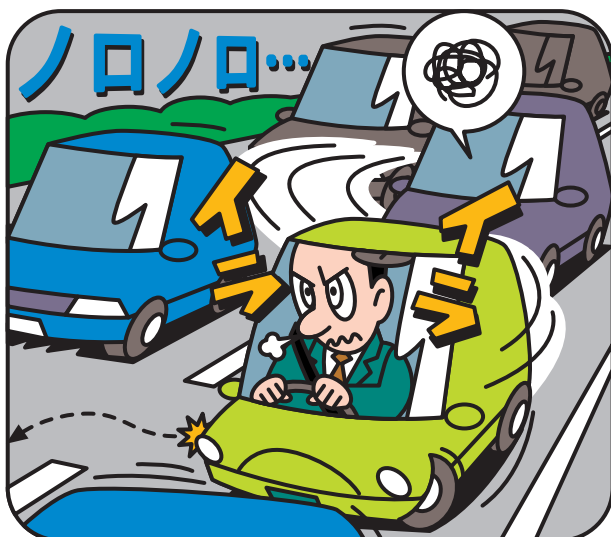
渋滞で低速走行をしているときは、油断から脇見をしがちです。しかし、渋滞時は前車との車間距離も短くなっていますから、前車が停止したのに気づくのが遅れると追突する危険があります。渋滞時はいつ前車が停止するかわかりませんから、 unnecessaryな脇見はせず、常に2秒先の交通状況が確認でき、安全が確保できるような運転を心掛けましょう。



Point 2 むやみに車線変更しない

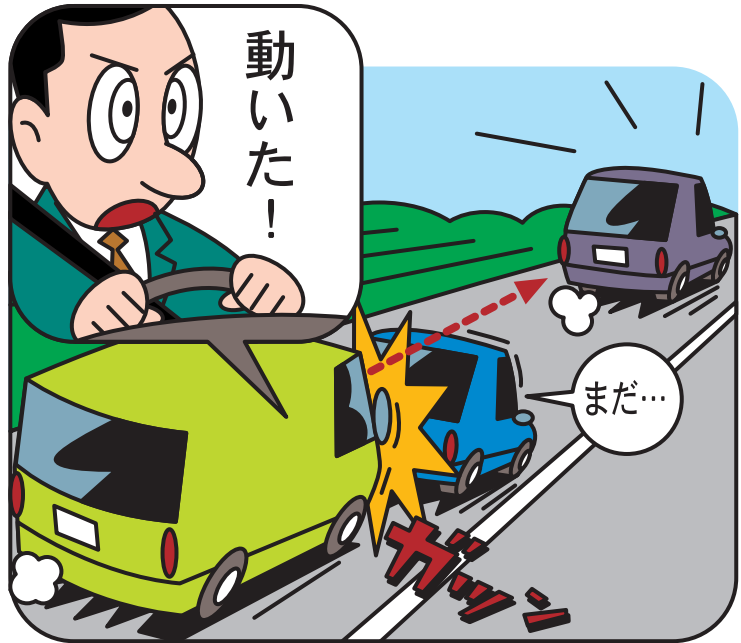
渋滞時はイライラや焦りも生じます。特に先を急いでいるときは、少しでも先に行こうとして車線変更を繰り返すケースもみられます。それが接触事故を招く原因となりますから、むやみに車線変更はしないようにします。また、渋滞時は二輪車が渋滞車両の間をすり抜けていくことがよくありますから、やむを得ず車線変更をするときには後方の二輪車の有無もよく確認する必要があります。

なお、車線変更してくる車があるときには、できるだけ入れてあげるようにしましょう。それが接触事故の防止にもつながります。



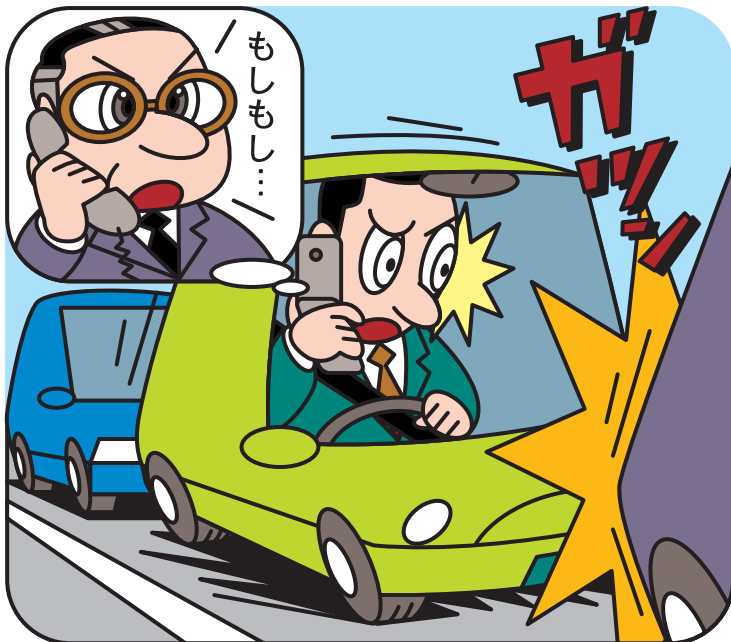
Point 3 直前の車から目を離さない

ワンボックスカーなど運転席が一般の乗用車よりも高い車は、前方がよく見えます。そのため渋滞による停止時に、数台先の車が動いたのを見てただちに発進し、まだ発進していない直前の車に追突するケースがあります。発進するときは、必ず直前の車が発進したかどうかを確認するようにします。



Point 4 携帯電話を使用しない

低速走行時であっても携帯電話の使用は禁止されています。渋滞で遅れが生じた場合には、相手に携帯電話で連絡したくなるものですが、走行時に通話をしたりメールの送受信を行うと、前方への注意が欠けてしまうだけでなく、ハンドルやアクセル操作にも影響を及ぼし、事故の大きな原因となります。携帯電話を使用するときは、安全な場所に停止してから行うようにします。



「ご相談・お申込先」